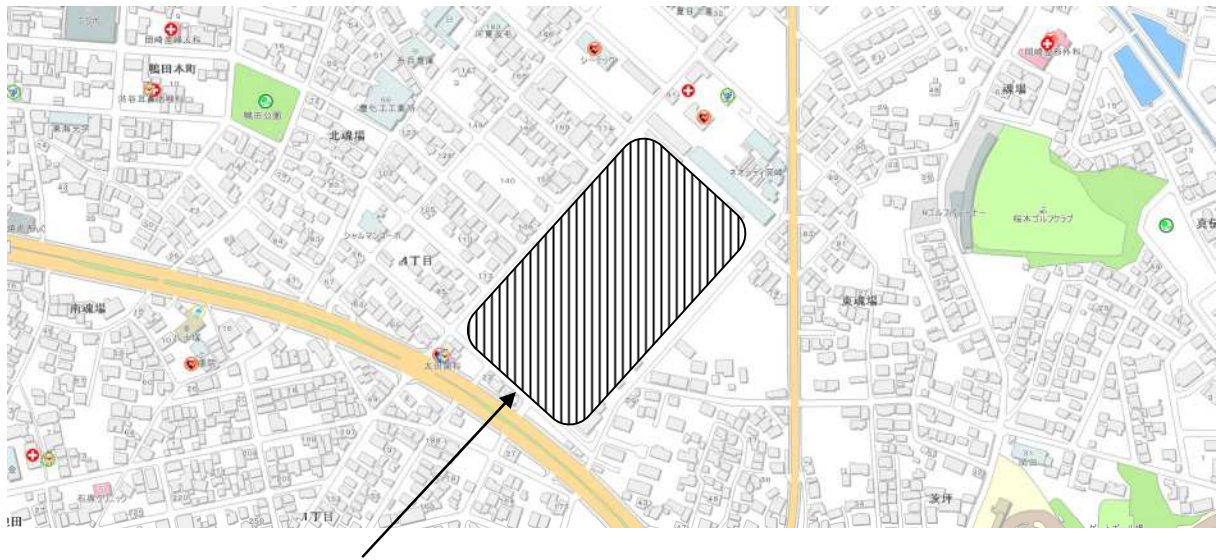


○ 汚染場所



○ 用語解説

調査対象地

「土壌溶出量基準」

汚染土壌から特定有害物質が地下水に溶出し、その地下水を70年間、1日2リットル飲用することによる健康影響を考慮して設定

○ ふっ素の健康影響について

ふっ素を継続的に飲み水によって体内に取り込むと、0.9～1.2mg/Lの濃度で12～46%の人に軽度の斑状歯が発生することが報告されており、最近のいくつかの研究では1.4mg/L以上で、骨へのふっ素沈着の発生率や骨折リスクが増加するとされています。斑状歯発生予防の観点から、水道水質基準及び水質環境基準が設定されています。

厚生労働省では、過剰摂取による健康被害の防止の観点から、栄養補助食品として用いるふっ素の上限摂取量を1日4mg以下としています。ふっ化水素は、ラットの培養細胞を使った染色体異常試験で陽性を示したと報告されています。

ふっ化水素の発がん性について、国際がん研究機関（IARC）は評価していません。

（出典：環境省水・大気環境局「土壌汚染に関するリスクコミュニケーションガイドライン」）